

制度の根幹：「認可」と「確認」の二重構造

本制度は、サービスの質と透明性を確保するため、異なる法律に基づく2つの承認プロセスを経て運用されます。

認可 (Authorization)



- 根拠法：児童福祉法
- 焦点：設備の認可基準（安全・衛生・職員）
- アクション：衛生管理、設備、職員配置が基準を満たしているか審査。

確認 (Confirmation)



- 根拠法：子ども・子育て支援法
- 焦点：給付費の支払基準（給付適格性）
- アクション：給付対象施設として適切か、公費支出の透明性を確保。

二重チェック構造により適切な事業実施を担保します。

開設までの道のり： 事前協議から公示まで



認可申請と確認申請を同時に受け付けることで、事務負担を軽減する運用が想定されます。